

1922年(大正11年)の立山カルデラの写真を入手

立山砂防事務所では、92年前の立山カルデラの荒廃状況等が確認できる写真を入手しました。

日本人として初代の砂防工学の教授であり、日本で初めて砂防工学専門書を著した諸戸北郎博士(東京帝国大学名誉教授)が、大正11年の災害後に常願寺川を調査した際の写真を、東京大学農学部鈴木雅一教授(森林理水及び砂防工学)より提供いただきました。

諸戸北郎博士は、日本は地勢が急峻で雨量が非常に多くかつ地震が多い関係から、独自の砂防工学が必要と唱えました。

当事務所では、明治39年より立山カルデラにおいて実施してきた砂防事業の効果検証等に活用していきます。別添資料は入手した大正11年の写真です。

諸戸北郎(もろときたを)

明治-昭和時代前期の砂防学者。日本で最初の本格的砂防工学書を著す。明治6年9月6日生まれ。43年東京帝大教授、のち農学部長。明治42年1月~45年6月 オーストリア留学。大正2年内務省土木局技師を兼ね、砂防行政にも携わる。昭和26年11月1日死去。78歳。三重県出身。東京帝大卒。著者に「理水及砂防工学」(全5編)、「諸戸砂防工学」ほか多数。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所
副所長(技術) 帆苺 晃也
電話 076-482-1111 (代表)
FAX 076-482-1101

立山砂防事務所



大正11年撮影写真(常願寺川)

(比較可能なものはその後の写真を添付しています)

当事務所には電子データもありますので、ご連絡頂ければご用意させて頂きます。

なお、使用に際しては、
『東大 森林理水及び砂防工学研究室 提供(または所蔵)』
との明記を遵守してください。

【連絡先】

立山砂防事務所 調査課(越野)

TEL 076-482-1199 FAX 076-481-1426

西ノ谷全景



大正11年9月2日撮影



昭和33年撮影



平成25年7月20日撮影

多枝原谷(出原谷)中谷全景



大正11年9月2日撮影



昭和40年撮影



平成25年7月20日撮影

西ノ谷より見下す



大正11年9月3日撮影



平成24年10月16日撮影

大鷲山より多枝原(出原)池



大正11年9月3日撮影



昭和35年撮影



平成24年10月16日撮影

大鷲山より見下す



大正11年9月3日撮影



平成24年10月16日撮影

大鷲より立山温泉を見ん



大正11年9月3日撮影



平成24年10月16日撮影

大鷲より立山温泉を見ん



大正11年9月3日撮影



平成24年10月16日撮影

第1号堰堤の破壊跡 上流より



大正11年9月5日撮影



平成25年11月6日撮影

多枝原(出原)谷の土石流



大正11年9月2日撮影

西ノ谷第二谷



大正11年9月3日撮影

多枝原(出原)谷第二谷より
西ノ沢、中ノ沢を見ん



大正11年9月3日撮影